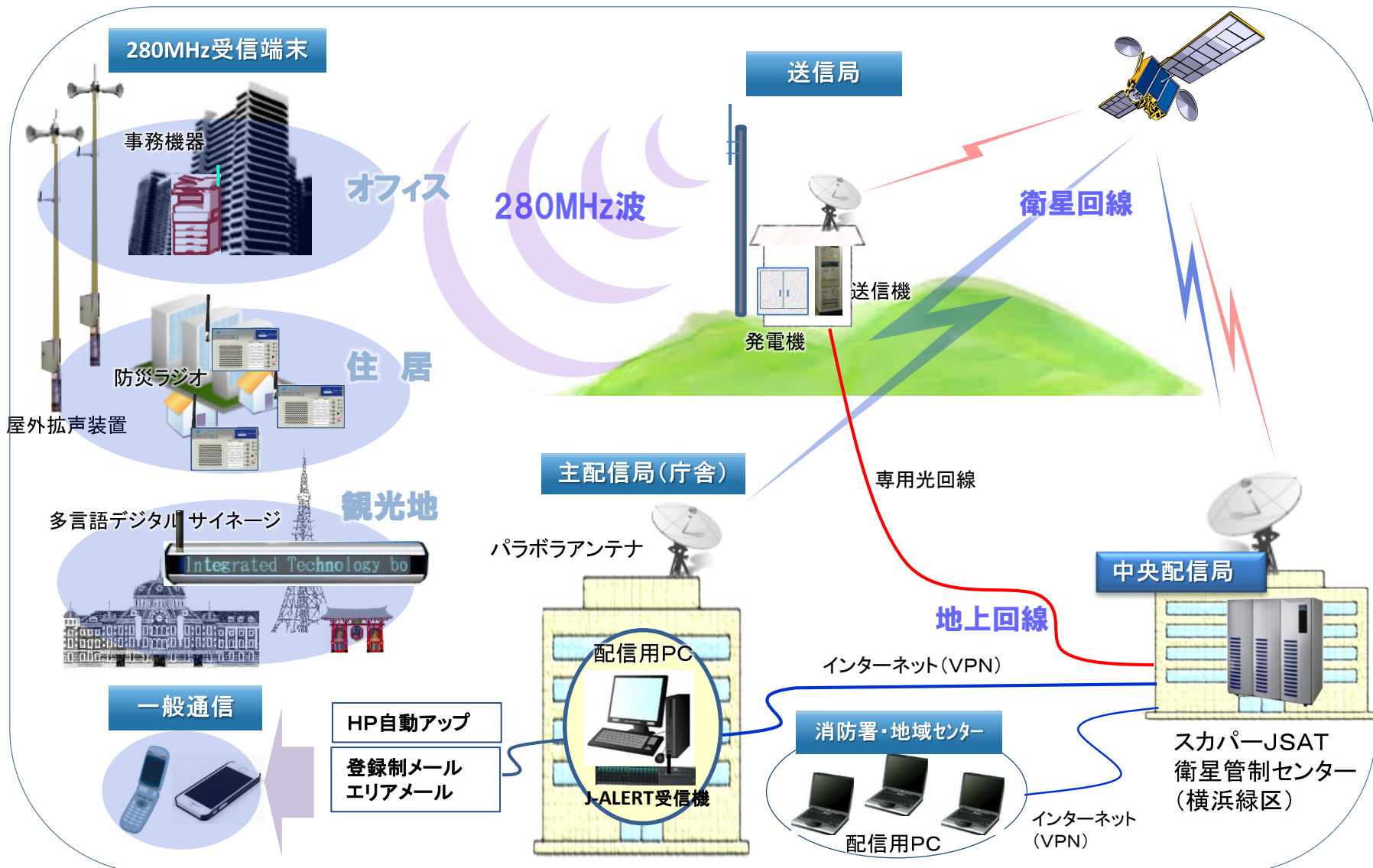


第19回 「震災対策技術展」 横浜

280MHzデジタル同報無線

東京テレメッセージの**首都圏既存インフラ**を利用した**大災害時でも通信が輻輳しない280MHz電波**で、**住居・オフィス・観光地施設・避難施設**などへ**防災情報・避難情報・救援情報**を**音声と文字**で伝達。**観光地**などでの**情報伝達は多言語文字表示**で対応。

280MHzデジタル同報無線システム

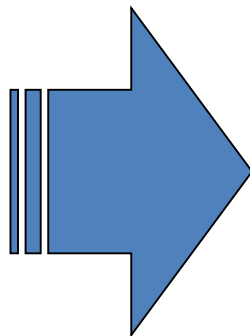


注：屋外拡声装置は26年度内に製品化のうえ納品開始。文字表示型防災ラジオ及び多言語デジタルサイネージは27年度内の製品化に向けてNHKアイテック殿と共同開発中。事務機器は27年度内開発・28年度製品化に向けて富士通エレクトロニクス殿と構想企画中。

システムの特徴

- ① 到達性と建物内への浸透力に優れる280MHz電波を利用
- ② 有事(停電・輻輳・回線断)を想定したシステム
- ③ パソコンがそのまま指令卓(移設・配置転換が容易)
- ④ 独立した副配信局(庁舎倒壊・放棄でも配信継続可)
- ⑤ グループング機能の充実(エリア・属性単位での情報配信)
- ⑥ 防災情報だけでなく一般行政情報・生活情報の配信が可
- ⑦ 受信機が音声合成(高音質での屋外拡声 & 文字表示可能)
- ⑧ 他システムとの連携(登録メール・エリアメール、J-ALERT等)
- ⑨ 財政措置の対象(緊急防災・減災事業債)
- ⑩ 総コストが安価(競合システムに比して総コストは半分以下、首都圏では既存インフラの利用により数分の1となります。)

受注開始(納品今秋)
文字表示機能付き280MHz対応
防災ラジオ(国内製造):
防災ラジオを載せるだけで文字表示版
に文字をディスプレイ。



注意: デザインには若干変更があります。